



コンコース中央吹き抜けにスポットライトを配置。ベース照明を調光調色することにより時間の移ろいを演出(写真は6時 色温度5000K 照度100%)

大阪モノレール 万博記念公園駅

OSAKA MONORAIL BAMPAKU-KINEN-KOEN STATION

**調光調色システムにより
時の移ろいが感じられるコンコースに**

1990年、大阪モノレール千里中央—南茨木間開業時に万博記念公園駅は誕生した。現在は大阪国際空港と京阪電鉄門真市駅を結ぶ本線と、茨木市彩都に至る国際文化公園都市線の乗り換え駅でもある。2面の島式ホームを持つ高架駅で、他駅と異なり軌道階の上に改札口があるという特殊な構造のため、改札からコンコースにかけては広いスペースが確保されており、利用者の広場的な存在となっている。

2015年、万博記念公園駅周辺が新たに整備されるのに合わせ、「光と緑があふれる"太陽の駅"」

を空間コンセプトに駅コンコースのリニューアルが行われた。照明設備のリニューアルにあたっては、すべての照明器具をLED化するとともに、コンコース中央の吹き抜け部には梁にスポットライトを配し、ポール灯を設けることにより半屋外的なイメージを演出。ベース照明を時間に応じて調光・調色することにより、時間が感じられる「居心地の良い」空間が創り出されている。

またプラットフォームでは、車両乗降時や歩行の安全を図るために直管タイプのLED照明器具を連結。ホーム側に23°傾けることにより、車両扉の鉛直面照度を確保しながら、ホーム中央部までを明るく照らしている。



大阪モノレール 万博記念公園駅
 ■照明設備リニューアル工事
 所在地 / 大阪府吹田市千里万博公園
 施工主 / 大阪高速鉄道株式会社
 リニューアル竣工 / 2015年4月



夜のコンコース照明(19時 色温度3000K 照度90%)

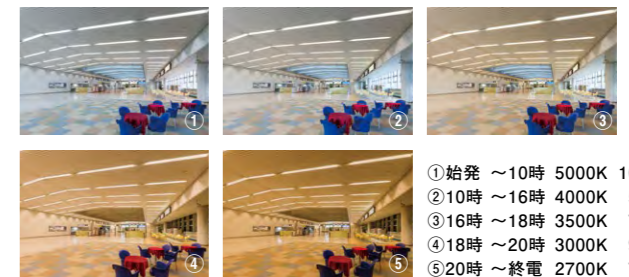


直管LEDを連結し23°傾けたプラットフォーム照明



文字が読みやすくなったLED内照式料金表示

調光調色システムによる演出(始発から終電)



①始発 ~10時 5000K 100%
 ②10時 ~16時 4000K 50%
 ③16時 ~18時 3500K 70%
 ④18時 ~20時 3000K 90%
 ⑤20時 ~終電 2700K 70%

主な設備

コンコース	プラットフォーム
● マルチ調光調色システム	● LEDスポットライト
● 一体型LEDベースライト	● LEDベースライト(直管タイプ)
	● LEDポールライト